



八雲町長
岩村 克詔

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆さまに
は、お健やかに新春をお迎え
のこととお喜び申し上げます
とともに、日頃から町政の推
進に温かなご支援ご協力を賜
り心から感謝申し上げます。

私も、町民皆さまの温かい
ご支援をいただき2期目の重
責を担わせていただき、早
早いもので1年を経過したと
ころでございますが、この機
にあたり、改めてその職務の
重みを認識し、身を引き締め
て安心と活力あるまち「八
雲」の実現のため、円滑な行
政運営に向けて更なる努力
をして参る所存であります。

昨年
は災害の多い年ござ
いまして、7月4日〜5日に
かけて台風7号の接近に伴
い、黒岩地区の高速道路の斜
面で土砂崩れが発生したのを
はじめ、8月にも大雨や台風
による影響から、町内の施設
において自主避難所の開設を
させて頂きました。9月6日

に発生した胆振東部地震で
は、北海道全体が停電し、町
では、人的被害は無かったも
の、生乳を廃棄する被害があ
ったほか、物流など経済活
動にも大きな影響がありまし
た。震源に近い地域では、い
まだ多くの皆さまが不自由な
生活を強いられており、町と
しても職員を派遣し、早期復
興に向けた取り組みを支援し
ております。

平成30年度から総合的かつ
計画的なまちづくりを進める
ための指針である第2期八雲
町総合計画が始まりました。
本計画では八雲町の将来像を
「八雲発！自然と人を未来へ
つなぐ」とし、その実現のた
め、食を支える第一次産業と
再生可能エネルギーを活用し
た産業振興を図り、行財政運
営の自立を目指す八雲町自立
促進プロジェクト、さらに

は、総合病院機能の維持や北
海道新幹線などによる周辺整
備等により、道南北部自治体

の中心としての機能を高めて
いくことを目指す道南北部ブ
ロジェクトの2点を戦略プロ
ジェクトとして取り組むこと
としております。八雲町の20
年、30年後の長期的展望に
立ち、地域住民が将来に向
かって、安心して暮らせるま
ちを目指し、町民皆さまと
もに計画推進に取り組んで参
りたいと考えております。

さて、昨年4月から、少子
高齢化、人口減少に少しでも
歯止めをかけるため、学校給
食費の無料化をはじめ、保育
料を軽減し、子育て家庭の支
援を行うとともに高齢者の生
きがいくつくりと健康寿命の延
伸の観点から、スポーツ施設
共通利用券を導入し、年間を
通じた健康づくりの支援を
行ったところであります。

また、花浦、山崎地区では
昨年5月より、蓄電池併設型
としては、日本最大級の太陽
光発電所の建設が始まりまし
た。太陽光発電をはじめとし
た再生可能エネルギーの導入
は、温室効果ガスの削減に大
変有効な手段であることも
に、地域振興にも効果がある
ものと考えております。

平成29年度から策定作業を
始めた立地適正化計画と新幹
線新八雲(仮称)駅周辺整備計

画につきましては、コンパク
トで効率的な市街地形成と、
新駅周辺は農業や牧歌的風景
など景観に配慮した八雲らし
い、目玉となる玄関口を目指
し進めて参ります。また、役
場本庁舎は、昭和36年に建設
され、老朽化が進んでいると
同時に、災害対策活動の中核
拠点が必要とされる耐震性能
を満たしていないことから、
国立病院機構八雲病院の跡地
利用として、役場庁舎、公民
館、町民センター、郷土資料
館、保健福祉課の機能を集約
化した庁舎の移転改築に向け
検討を進めており、本年は町

民皆さまのご意見を伺いな
がら基本計画策定に向けた取
組みを進めて参ります。
時代は急速に変化し、課題
も多様化しておりますが、ど
のような社会状況になろうと、
町民の皆さまが安心・安全に
暮らしていける地域を築いて
いくことが私の責務であります。
今年も、皆さまとの対話を
大切にしながら、夢と希望を
持つて暮らせるまちづくりの
実現に向け邁進してまいりま
すので、本年も特段のご支援
ご協力を賜りますようお願い
申し上げます、新年のごあ
いさつといたします。

日本脳炎ワクチン予防接種 日程変更のお知らせ (八雲ユーラップ医院会場)

平成30年度保健カレンダーに記載されてい
る、八雲ユーラップ医院会場の日本脳炎ワクチ
ン予防接種(3月実施分)について、下記のとおり
日程変更となりますので、お間違えなくお越し
くださいますようお願いいたします。

| | 変更前 | 変更後 |
|-----|---------|----------|
| 日 程 | 3月1日(金) | 3月15日(金) |

※会場・受付所間は変更ありません。

【問い合わせ先】

保健福祉課健康推進係(シルバープラザ内)

☎0137-64-2111